



神奈川県

福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課

令和4年度

神奈川県認知症施策活動事例集

～認知症地域支援推進員の活動支援のために～

神奈川県

はじめに

超高齢社会が到来し、認知症の人の数の増加がさらに見込まれる中、第8期の「かながわ高齢者保健福祉計画」（令和3年度～令和5年度）がスタートし、2年目を迎えました。

「認知症とともに生きる社会づくり」を柱の1つとし、国の「認知症施策推進大綱」を踏まえ、誰もが認知症になりうることを意識し、認知症の人が自ら認知症理解のために発信する「本人発信」への支援など、誰もがともに生きる、共生の基盤のもと、認知症施策を進めることとしています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症が収束しない中での認知症地域推進員の皆様の活動となっておりますが、高齢者の外出自粛などの影響による認知機能の低下、認知症の症状の悪化といった報告もされてきており、こうしたときだからこそ、皆様の取組が一層求められているともいえます。

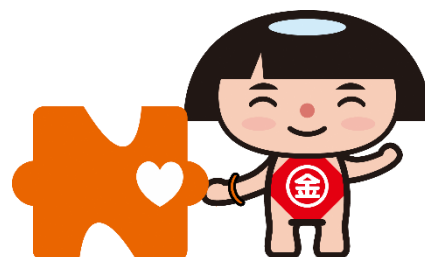
推進員研修もオンラインでの実施となりましたが、各市町村では、オンラインによる研修の実施、リモート認知症カフェの支援や体操動画の配信のほか、アルツハイマーデーイベントを密にならないような方法で実施するなど、創意工夫した様々な取組が実施されました。

これまで県では、平成27年度から推進員研修を開始するとともに、活動の参考としていただけるよう、県内市町村や県保健福祉事務所・センターにおける取組をまとめた事例集を作成してきましたが、今回の事例集でも昨年度に引き続き、コロナ禍で工夫して取り組まれた事例などもまとめて掲載しております。

お忙しい中、原稿作成にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、好事例等、実際の取組を参考にいただき、各地域で、新しい生活様式のもと、さらなる認知症施策の推進に活用していただきますようお願いいたします。

令和5年3月 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課

神奈川県認知症の人と
家族を支えるマークと
かながわキンタロウ



利用にあたって

- (1) 相談窓口等情報は、令和4年度に把握した情報をまとめたものです。
- (2) この事例集は、神奈川県高齢福祉課のホームページでダウンロードすることができます。
- (3) お気づきの点がありましたら、下記まで御連絡ください。

連絡先 〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1
神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ
電 話 045-210-4846 (直通)
メール anshinkaigo@pref.kanagawa.lg.jp

～目次～

はじめに	1ページ
利用にあたって	2ページ
目次	3ページ
1 特集	4～9ページ
2 各市町村における認知症の取組	10～43ページ
3 各保健福祉事務所・センターにおける認知症の取組	44～49ページ
4 認知症地域支援推進員研修及び県内配置状況	50～51ページ

【巻末】

- お電話ください認知症のあれこれ
- もしかして若年性認知症?? 記憶に不安を感じたら

1 特集

県で実施している、認知症施策の取組について、ご紹介します。

- (1) かながわオレンジ大使について 5ページ
- (2) チームオレンジ・オレンジパートナーについて 6～8ページ
- (3) 認知症疾患医療センターについて 9ページ

その他の取組については、

「かながわ認知症ポータルサイト」

をご覧ください！

神奈川県認知症の人と
家族を支えるマークと
かながわキンタロウ



「かながわ認知症ポータルサイト」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f6401/index.html>

(1) かながわオレンジ大使について

認知症の当事者が発信！15名がかながわオレンジ大使として活動しています！

多くの県民の皆様、認知症について理解していただくため、県では、認知症の方ご本人が思いを直接伝え、その人らしい活動を発信する「かながわオレンジ大使」（認知症本人大使）を令和3年4月に創設、16名の方に委嘱しました。（令和4年3月31日付けで1名退任されたため、現在15名となっています。）神奈川らしい大使のあり方を、認知症ご本人やご家族と話し合った結果、人数を定めず公募によることとし、ご本人の希望や体調に合わせ、参加・協力が可能な活動を行っていただくこととしています。

現在、市町村等からの依頼による講演活動や研修会の講師、認知症に関する会議への参加、テレビやラジオ出演、大使の作品展示等など、様々な発信を行っています。

まだコロナ禍の制約はありますが、さらにその人らしい活動を発信していきます。

認知症とともに生きる

楽しむ × 伝える × 働く × 支える

「かながわオレンジ大使」
16名からのメッセージ

認知症について理解していただくため
認知症の方ご本人が思いを伝え
その人らしい活動を発信します

神奈川県認知症の人と家族を支えるマーク

近所の友達と野球チームを作りました
認知症でも大丈夫と一人で頑張ってきたので
支援があればやっていたい
ことを伝えたい
(鎌倉市 青木さん)

福祉施設などで
ヨガ講師のボランティアをしています
(藤沢市 村野さん)

福祉施設などで
マンドリン演奏のボランティアをしています
認知症なんて関係ないことを伝えたい
(藤沢市 望月さん)

認知症
本人ミーティングに参加し
皆さんと活動したい
(横浜市 Cさん)

新たに**老人ホームの仕事を開始**
まだまだ頭は回っています
素晴らしい方と関わりながら
やっていきたい
(横浜市 根木さん)

近隣の市町村の**認知症の方のガイド**や
見守り・介助などの活動をして
かながわオレンジ大使となって
引き続き活動していきたい
(海老名市 鮎沢さん)

喫茶店を経営していたので
色々な方と交流がありました
友達作りは大切
動けるうちは体を動かし
色々な方とおしゃべりしたい
(鎌倉市 藤川さん)

趣味の**写真**を通して
認知症になっても
楽しく生活できることを
伝えたい
(Aさん)

認知症でも楽しめる
人生があるというテーマのもと
オリジナル曲を中心としたライブ
活動をしています
この気持ちを
多くの方に伝えたい
(横須賀市 松浦さん)

就労継続支援B型の
作業所に通所しています
認知症だと何もできないのではなく
**一人の人間として
社会参加・社会貢献**
していることを広めたい

認知症の初期の状態で
診断がおりているので
現在の生活から今後の
生活を定期的に
モニタリングしてもらい
正しい情報を発信したい
(川崎市 Dさん)

左手が不自由になり
ウクレレを開始し世界ギネスも
取りました
**認知症の既成概念を
壊したい**という想いを
活動を通して発信したい
(三浦市 柳田さん)

デイサービスで公園整備の
活動を行いながら雑物の業の
スケッチを始めました
認知症カフェや
展示会で紹介
しています
(鎌倉市 仲藤さん)

消防関係の仕事をしていたので
社会貢献に関心があります
大好きな歌を取って
楽しく暮らせることを
伝えたい
(鎌倉市 オーソレ・ミオさん(仮名))

本人ミーティングなどで
自身の体験を語り
悩みを共有・相談し、
ピアサポート活動を
やっていきます
(横浜市 山上さん)

診断された時から
継続して工夫している
ことを伝えたい
作品(コラージュ)
を多くの方に見て欲しい
(横須賀市 伊藤さん)

大使からのメッセージや活動の様子



活動内容は大使の皆さんによる企画運営会議で話し合いながら決定しています。

(3月までにオンラインで8回、集合で1回開催)



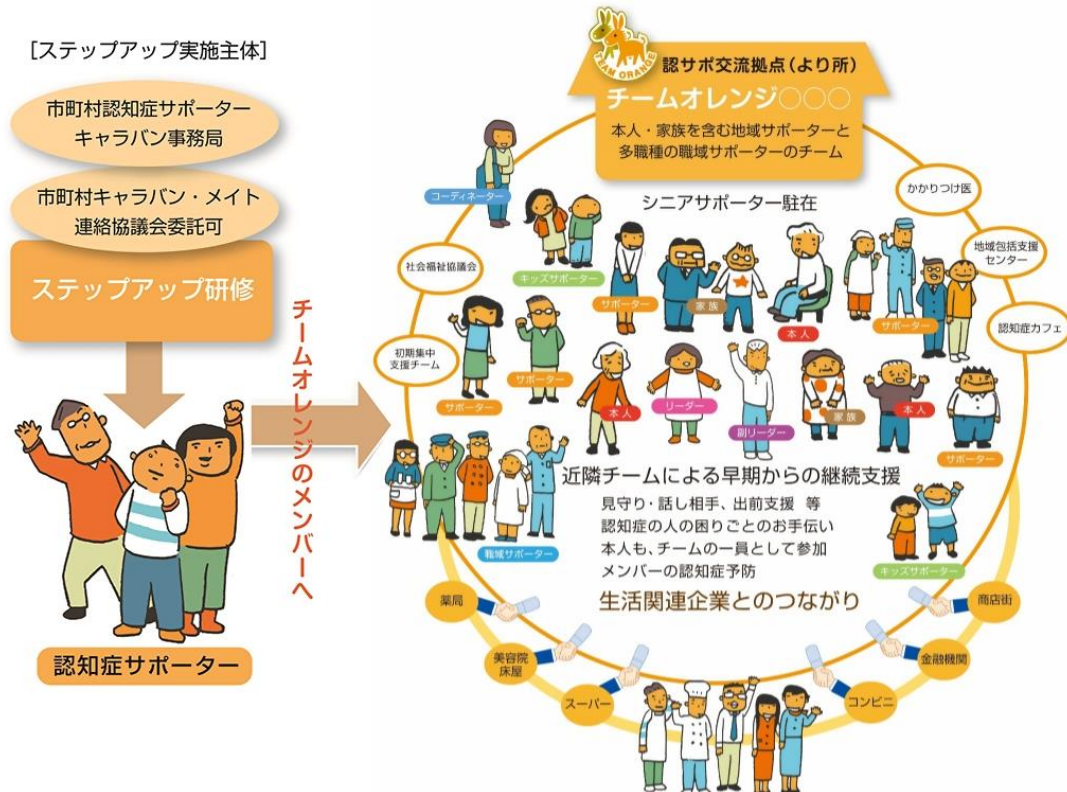
(2) チームオレンジ・オレンジパートナーについて

○チームオレンジについて

認知症サポーターから一歩進んで、それぞれの地域でボランティア活動を行うサポーターが誕生しています。

認知症の人や家族の支援ニーズと、こうした認知症サポーターを中心とした支援をつなぎ、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの活動が「チームオレンジ」です。

令和4年12月31日現在の設置状況調査結果は、8ページ記載のとおりです。



(図) 認知症サポーターキャラバンホームページ「チームオレンジとは」

○オレンジパートナーとオレンジパートナーネットワーク

企業、行政、支援団体、個人の支援者等がネットワークを構築し、認知症の方やそのご家族を支援します。

認知症オレンジパートナーネットワークウェブサイトを通じてご登録いただいた方を「オレンジパートナー」と呼んでいます。



○令和4年度に実施した県の取組

・チームオレンジ市町村伴走支援

より市町村の状況に応じたチームオレンジの立ち上げを支援するため、アドバイザーやオレンジ・チューター、県が市町村とともに課題の解決策を検討し、チームオレンジの構築を支援する。令和4年度は、海老名市、二宮町、清川村で実施。

・チームオレンジ意見交換会（令和4年8月18日（木）、オンライン）

チームオレンジ設置後の取組の活性化を図るとともに、他の市町村での支援方法を参考とし、チームオレンジ同士が様々な情報を交換することを目的に開催。

・チームオレンジシンポジウム（令和5年2月21日（火）、オンライン）

チームオレンジの市町村伴走支援による取組報告と、意見交換等を行うことで、県内のチームオレンジの取組を活性化することを目的に開催。

・オレンジパートナーネットワークウェブサイトリニューアル

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1393/orangepartner/index.html>



【（公社）認知症の人と家族の会 神奈川県支部に委託】

・オレンジパートナー等の活動支援

オレンジパートナー等の登録、支援団体の募集情報等の発信やマッチングなど活動を支援する。

・チームオレンジコーディネーター等研修（令和5年2月24日（金）、万国橋会議センター）

チームオレンジの立ち上げや運営支援等を担うコーディネーター等を対象とする研修を実施することで、市町村におけるチームオレンジの整備を支援し、大綱に掲げる「共生」の地域づくりを推進する。

・オレンジパートナーフォローアップ研修（12月～2月に動画配信）

オレンジパートナー等を対象とした、チームオレンジの意義や役割、意思決定支援についての講義を含む、フォローアップのための研修を実施することで、チームオレンジへの参加促進を図る。

〇チームオレンジ設置状況調査結果（令和4年12月31日時点）

市町村名	問1	問2	問3【県独自】				問4【県独自】	問5	問6【県独自】	問7
	チームオレンジ①または②の設置状況	設置数	チームオレンジ①				設置時期	チームオレンジ②		未設置
			類型ごとの設置数					設置数	設置時期	
			第1類型（新規拠点設置タイプ）	第2類型（既存拠点活用タイプ）	第3類型（非拠点タイプ）	その他・分からない				チームオレンジ①または②の設置予定
横浜市	設置済み	年度末に確認予定					令和4年度	把握なし	令和4年度	
川崎市	未設置									令和4年度中
相模原市	未設置									未定
横須賀市	設置済み	3		3			令和2年度	0		
平塚市	設置済み	0						13	令和2年度	
鎌倉市	設置済み	2		2	0		令和3年度	0		
藤沢市	設置済み	1				1	令和3年度	0		
小田原市	未設置									未定
茅ヶ崎市	設置済み	1	1				令和4年度	0		
逗子市	未設置									令和5年度中
三浦市	未設置									令和4年度中
秦野市	設置済み	7	0	4	3	0	令和元年度	7	令和2年度	
厚木市	設置済み	1	1				令和4年度	0		
大和市	設置済み	2		1	1		令和4年度	0		
伊勢原市	設置済み	0						6	令和2年度	
海老名市	未設置									令和5年度中 (R4伴走支援)
座間市	未設置									令和6年度中
南足柄市	設置済み	1		1			令和3年度			
綾瀬市	未設置									令和5年度中
葉山町	未設置									未定
寒川町	設置済み	1			1		令和4年度	0		
大磯町	未設置									未定
二宮町	未設置									令和5年度中 (R4伴走支援)
中井町	未設置									未定
大井町	設置済み							1	令和4年度	
松田町	設置済み	1		1			令和4年度	0		
山北町	設置済み							1	令和4年度	
開成町	未設置									未定
箱根町	未設置									令和6年度中
真鶴町	未設置									未定
湯河原町	未設置									未定
愛川町	未設置									未定
清川村	設置済み	2		1	1		令和4年度	2	令和4年度	(R4伴走支援)
合計	16	22	2	13	6	1		30		

・チームオレンジ設置状況調査は、厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課の実施する「認知症総合支援事業等実施状況調べ」の内容に県独自質問を追加したものです。
 ・『チームオレンジ①』：コーディネーター研修テキスト「認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き」で示されている「チームオレンジの三つの基本」（①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。②認知症の人もチーム員の一人として参加している。（認知症の人の社会参加）③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる。）を満たすもの
 ・『チームオレンジ②』：3つの基本は満たさないものの、本人・家族のニーズとステップアップ講座を受講した認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みが構築されているもの

(3) 認知症疾患医療センターについて

○認知症疾患医療センターとは

認知症疾患医療センターとは、認知症における専門医療の提供や、医療と介護の連携の中核機関として、認知症疾患に係る鑑別診断、専門医療相談、人材育成のほか、医療・介護等の連携のため地域連携会議の設置運営などを行います。

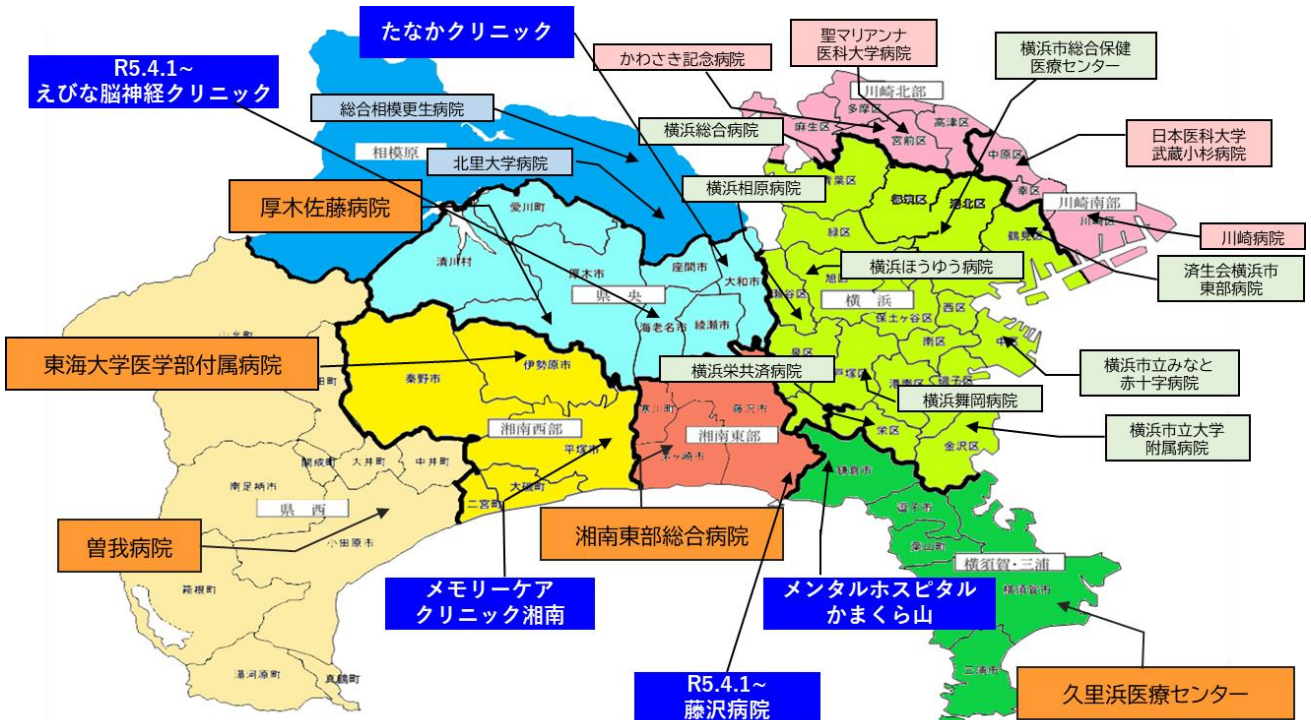
2次医療圏に1か所ずつ、計5か所設置している「地域拠点型」認知症疾患医療センターに加え、地域の認知症サポート医やかかりつけ医、医療・介護・保健関係機関との連携を強化するために「連携型」を設置しています。

県では認知症の早期発見・早期対応を一層進めるため、今年度より連携型の認知症疾患医療センターを設置しており、4月1日に、さらに2か所設置します。これにより、政令市が設置するものと併せて、県内25か所となるので、お近くの認知症疾患医療センターをご利用いただきやすくなります。

○神奈川県認知症疾患医療センター（10か所）設置状況

	年月	設置箇所	類型
1	H22.1	東海大学医学部附属病院（湘南西部圏域）	地域拠点型
2	H24.1	国立病院機構久里浜医療センター（横須賀・三浦圏域）	地域拠点型
3	H26.7	曽我病院（県西圏域）	地域拠点型
4	H29.6	湘南東部総合病院（湘南東部圏域）	地域拠点型
5	H29.10	厚木佐藤病院（県央圏域）	地域拠点型
6	R4.4	メモリーケアクリニック湘南（平塚市）	連携型
7	R4.4	メンタルホスピタルかまくら山（鎌倉市）	連携型
8	R4.4	たなかクリニック（大和市）	連携型
9	R5.4	藤沢病院（藤沢市）	連携型
10	R5.4	えびな脳神経クリニック（海老名市）	連携型

○県内の認知症疾患医療センター設置状況



2 各市町村における認知症の取組

神奈川県内 33 市町村では、地域特性に合わせて認知症についてさまざまな取組を実施しています。

次のページから各市町村の情報と取組や工夫等を掲載していますので、「推進員」の活動を展開していくための参考にしてください。担当課や連絡先も記載してありますので、「もっと知りたい！もっと聞きたい！」という場合は、アクセスしてみてください。

*市町村の順番は建制順になっています。

*以下のように省略して記載しています。

- 地域包括支援センター → 地域包括
- 認知症地域支援推進員 → 推進員
- 社会福祉協議会 → 社協
- 認知症キャラバン・メイト → メイト
- 認知症サポーター養成講座 → サポーター養成講座

市町村名	ページ番号	市町村名	ページ番号
横浜市	11	南足柄市	28
川崎市	12	綾瀬市	29
相模原市	13	葉山町	30
横須賀市	14	寒川町	31
平塚市	15	大磯町	32
鎌倉市	16	二宮町	33
藤沢市	17	中井町	34
小田原市	18	大井町	35
茅ヶ崎市	19	松田町	36
逗子市	20	山北町	37
三浦市	21	開成町	38
秦野市	22	箱根町	39
厚木市	23	真鶴町	40
大和市	24	湯河原町	41
伊勢原市	25	愛川町	42
海老名市	26	清川村	43
座間市	27		

市町村名	横浜市	
テーマ	横浜市認知症施策推進計画	
自治体の 情報	人口（令和4年9月30日現在）	3,754,942人
	65歳以上人口（高齢化率）	933,206人（24.9%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	507,037人（54.3%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成24年度から 人数：1 職種：社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：18チーム 設置場所：医療機関
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施（予定）
	ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：横浜市版オレンジガイド 活用方法：区役所、地域包括ケアプラザ、認知症疾患医療センター等で配付
	認知症カフェの開設	平成27年度から開設 カフェ数：116
	認知症予防の取組	取組内容：講座等の開催、啓発、もの忘れ検診の実施等
	チームオレンジの取組	① 設置済み（令和4年度から） ② 設置済み（令和4年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市認知症施策検討会の開催：医療・福祉・保健・認知症当事者等からなる検討会の開催。 チームオレンジの取組推進：20か所の地域ケアプラザで実施する活動への支援。 認知症カフェ活動支援：運営者向けに研修会の開催や活動内容を紹介するリーフレットの作成。 若年性認知症に関する取組推進：若年性認知症支援コーディネーターと連携し、当事者への支援の実施。 ケアパスの普及啓発：内容を充実させた最新版ケアパスの関係機関等への配布や研修会での配付。 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ運営者向け研修会、メイトを対象とした連絡会、横浜市認知症施策検討会のオンラインによる開催 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケアプラザがチームオレンジコーディネート機能を担い、既存の地域活動を活かしながら、地域の団体や活動者等を対象にステップアップ研修を開催し、地域における認知症の人と家族の支え合いや、接し方・対応について理解を深め、活動に活かせるように支援。 活動に認知症の本人が参加しやすくなる、活動の中で本人が役割をもってやりがいを感じられる、メンバーが認知症になっても継続参加できることなどに向けて、見守りサポート体制づくりの推進。 	
担当課名	高齢在宅支援課 電話：045-671-4129	

市町村名	川崎市	
テーマ	認知症のひととみんながつながる取組	
自治体の情報	人口（令和4年9月30日現在）	1,523,861人
	65歳以上人口（高齢化率）	307,504人（20.1%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	161,602人（52.5%）
	認知症地域支援推進員の配置	令和4年度から 人数：8 職種：介護福祉士・保健師・看護師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：7チーム 設置場所：各区役所 高齢・障害課
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成25年度から実施（フォローアップ研修として実施）
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：認知症アクションガイドブック 活用方法：区役所、認知症疾患医療センター、図書館、医師会研修等で配付
	認知症カフェの開設	カフェ数：88（平成27年から実態把握）
	認知症予防の取組	取組内容：タブレットを使用したMC Iスクリーニング検査
	チームオレンジの取組	未設置（令和4年度設置予定）
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー月間：共生と予防をテーマに「認知症とともに生きる～アルツハイマーデーinかわさき～」を開催。各区役所・図書館でパネル展示や認知症特集コーナーでの本紹介での普及啓発。 ・「かわさき de 認知症とともに生きる」の動画作成・YouTubeでの配信。 ・MC Iスクリーニング検査「アタマとカラダの健康イベント」を25か所で実施。 ・各区役所で、認知症当事者による講演会の実施。（オレンジ大使・若年性認知症・レビー小体型認知症の方） ・推進員：認知症初期集中支援チームのチーム員として、対象者への後方支援（地域資源の情報提供） ・若年性認知症本人のつどい・家族のつどいの定例開催。 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した事業実施 サポーター養成講座（市民向け・職員向け）・若年性認知症家族の会 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターとして活動できる人材を把握し、フォローアップ研修や交流会を通じて、チームオレンジの普及啓発を行った。 ・コーディネーターがチームオレンジの立ち上げと運営の支援をするため、既に地域で活動しているグループにステップアップ研修を実施した。（令和4年度はモデル区で実施） 	
担当課名	地域包括ケア推進室 電話：044-200-0207	

市町村名	相模原市	
テーマ	認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	726,373人
	65歳以上人口（高齢化率）	185,773人（26.4%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	95,457人（51.4%）
	認知症地域支援推進員の配置	令和3年度から 人数：36 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネ、精神保健福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：行政
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 名称：もの忘れ安心ガイドブック 活用方法：相談初期の説明用に使用（令和4年度更新）
	認知症カフェの開設	平成25年度から開設 カフェ数：41
	認知症予防の取組	取組内容：介護予防教室
	チームオレンジの取組	未設置（未定）
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座（市民、企業、市職員等へ対面とオンラインで実施） ・認知症カフェの新規立ち上げ、再開・運営支援 ・若年性認知症の人と家族の交流会 ・各区での推進員情報交換会の実施 ・世界アルツハイマーデーでの普及啓発 ・オレンジガーデニングプロジェクト参加、市立図書館にて特設コーナー設置、メッセージカードの展示、ライトアップなど 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを利用した事業実施（認知症カフェ、サポーター養成講座、各種会議・打合せ、各種対応力向上研修会） 	
チームオレンジにおける工夫	設置に向けて検討中	
担当課名	在宅医療・介護連携支援センター 電話：042-769-9250	



市町村名	横須賀市	
テーマ	地域で支え合い、住み慣れたまちで暮らせるために	
自治体の情報	人口（令和4年12月1日現在）	382,280人
	65歳以上人口（高齢化率）	125,481人（32.8%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	71,027人（56.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成26年度から 人数：1 職種：社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：4 設置場所：認知症疾患医療センター、医療機関、市役所
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和元年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：横須賀にこっとパス 活用方法：医療機関、民生委員、行政窓口などに配架
	認知症カフェの開設	平成27年度から開設 カフェ数：18（直営なし）
	認知症予防の取組	取組内容：・認知症予防教室、 ・脳の健康度チェック（ファイブコグ）
	チームオレンジの取組	① 設置済み（令和2年度から）
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<p>(1) 認知症予防の推進</p> <p>① 早期発見（認知症機能評価ファイブコグ） ② 認知症予防（認知症予防教室の開催）</p> <p>(2) 認知症高齢者・介護者の支援の充実</p> <p>① 認知症初期集中支援事業の実施 （まん延防止等重点措置期間中は、チーム員会議、認知症高齢者等支援連携会議は、オンライン開催とした。チームの訪問は、電話で様子確認できる場合は、それも「可」とした。）</p> <p>② 横須賀にこっとSOSネットワークの周知</p> <p>③ 認知症の各種相談・支援の実施 （認知症相談窓口設置、認知症ケアパス（にこっとパス）や認知症情報小冊子の発刊、専門医によるもの忘れ相談、認知症高齢者介護者のつどい、多職種セミナー開催）</p> <p>(3) 認知症共生社会に向けた地域づくりの推進</p> <p>① サポーター養成 ② オレンジパートナー（ステップアップ研修）養成</p> <p>③ チームオレンジの構築 ④ 認知症カフェ支援 ⑤ 「よすかオレンジLINE」を活用した地域づくり（認知症行方不明者捜索、認知症コラム配信等）</p> <p>(4) 若年性認知症の支援、社会参加支援</p> <p>① 若年性認知症の理解のための啓発 ② 本人発信の支援 ③ 若年性認知症支援コーディネーターとの連携 ④ 若年性認知症のつどい開催</p>	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症初期集中支援において、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置など状況により、「集合」と「リモート」を使い分けた会議を実施し、支援が途切れないよう工夫した。 ・ サポーター養成講座、介護者のつどいなどで、予約制により会場の収容人数制限や検温、手指消毒の徹底を行う。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームオレンジという名称ができる前から出来上がっていた地域の自主的な取組としての認知症の方を支援するチームを大切にするため、あくまでも市は、ファシリテーターとしての繋ぎ役・調整役に徹し、活動の把握や助言を行う。 	
担当課名	福祉総務課 電話：046-822-9804	

市町村名	平塚市	
テーマ	推進員中心に認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして事業展開	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	246,204人
	65歳以上人口（高齢化率）	73,621人（28.7%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	39,571人（53.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から1人、28年度から13人 （計：14人） 職種：保健師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、主任ケアマネ
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市内医療機関（認知症疾患医療センター）
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成27年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成27、30年度に作成、令和4年度に更新 名称：知ってあんしん ひらつか認知症ガイド 活用方法：相談業務や市民向けの教室、ステップアップ研修等
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数： 7
	認知症予防の取組	取組内容：市民向けに認知症予防教室（コグニサイズを含む運動）、脳とからだの体操リーダー養成講座を実施、物忘れ相談プログラムを活用し脳いきいき講座につなぐ
	チームオレンジの取組	②設置済み（令和2年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座、ステップアップ講座 ・脳とからだの体操リーダー養成講座 ・物忘れ相談プログラムを実施しMCⅠの方に脳いきいき講座（フォローアップ講座）を勧める ・認知症カフェ、認知症カフェ団体交流会・VR認知症体験会・市民公開講座（本人発信の取組） ・アルツハイマー月間にパネル展、駅前広場噴水ライトアップ、市民公開講座、街頭にてチラシの配布等 ・認知症に関する図書コーナー期間限定設置、パネル展の開催、ブックリストの作成と配布 ・認知症の本人と家族の一体的支援プログラムの推進 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中でエ 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を行い、密にならないように人数を制限して、各教室やサロンなどを開催した。 ・屋外で行う活動を実施（農園カフェ、青空コグニサイズ） ・自宅でできるコグニサイズの普及（DVD作成、YouTube配信） 	
チームオレンジ におけるエ 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある既存の社会資源を活用している。 ・すでに活動している運営者やボランティアの人たちに、ステップアップ研修を勧める。 ・ステップアップ研修は、市と推進員でカリキュラムを企画し、各地域包括が同じ内容で実施する。 ・チームオレンジメンバーを対象にVR認知症体験会を実施し、相互に交流をする機会とする。 ・日頃からすでに地域で活動している方と推進員が情報交換を密にしている。 	
担当課名	高齢福祉課 電話：0463-21-9621	

市町村名	鎌倉市	
テーマ	「認知症にやさしい地域社会を目指して」	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	176,781人
	65歳以上人口（高齢化率）	53,512人（30.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	32,100人（60.0%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成29年度から 人数：12 職種：看護師・保健師・社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：10 設置場所：市内地域包括10か所
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和3年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	令和元年度作成 名称：認知症サポートガイド（R4.10改訂） 活用方法：店舗、郵便局、薬局等で配架
	認知症カフェの開設	カフェ数：6
	認知症予防の取組	取組内容：普及啓発
	チームオレンジの取組	①設置済み（令和3年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有・連携の構築 ・認知症アルツハイマー月間における普及啓発 ・サポーター養成講座の実施 ・認知症ステップアップ講座の実施 ・認知症初期集中支援事業 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・かつては三浦半島でリレーを実施していたが、コロナ禍を踏まえて、三浦半島でオレンジ色（バングラ等）を身につける取組を行った。 	
チームオレンジ における工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する地域で活動している団体同士、顔合わせ会を実施。 ・ステップアップ講座では、認知症に関する団体について、広く市民に知ってもらえる機会を設け、認知症の人や家族に対し、オレンジサポーターが具体的な支援をしやすいよう工夫をしている。 	
担当課名	介護保険課（市民健康課） 電話：0467-61-3977	



市町村名	藤沢市	
テーマ	認知症になっても安心してらせるまちふじさわ	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	444,115人
	65歳以上人口（高齢化率）	108,737人（24.4%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	60,579人（55.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：2 職種：社会福祉士・介護福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：藤沢市高齢者支援課
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成27年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：知って安心 認知症ガイドブック 活用方法：医療機関、歯科医院、薬局、図書館、市民センターなど
	認知症カフェの開設	平成29年度から開設 カフェ数：13
	認知症予防の取組	取組内容：認知症予防教室
チームオレンジの取組	① 設置済み（令和3年度から）	
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<p>① 認知症普及啓発「おれんじキャンペーンふじさわ2022」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 ・パネル展 ・ブックフェア（書店、図書館） ・江の島シーキャンドルライトアップ 等 <p>② 認知症本人・家族交流会開催（年4回）</p> <p>③ チームオレンジ活動</p> <p>企画会議（年3回）、イベント1回（公園散策）</p>	   
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	・イベントやサポーター養成講座では対面開催としたが、密にならないように人数制限や感染対策を行い開催した。	
チームオレンジにおける工夫	・認知症ご本人や御家族を中心に、やりたいことなど話し合いながら、希望する活動を企画実施した。	
担当課名	高齢者支援課 電話 0466-50-3523	

市町村名	小田原市	
テーマ	メイトを中心とした認知症カフェの取組	
自治体の 情報	人口（令和4年11月30日現在）	187,966人
	65歳以上人口（高齢化率）	57,418人（30.6%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	31,214人（54.4%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：2 職種：社会福祉士、保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：12 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成25年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：にんちしょうケアパスおだわら 活用方法：サポーター養成講座で配布
	認知症カフェの開設	令和2年度から開設 カフェ数：6
	認知症予防の取組	取組内容：短期集中事業の実施
チームオレンジの取組	未設置（未定）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座、フォロー研修 ・認知症をにんちしょう会での認知症フォーラム ・認知症初期集中支援事業 ・メイト連絡会 ・SOS ネットワーク ・アルツハイマー月間、小田原城のライトアップ ・にんちしょうケアパスおだわら ・おだわら・はこね家族会 ・認知症カフェの支援 ・一市三町若年性認知症を考える会 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症をにんちしょう会では、集合型のイベント開催ができないため、動画配信を行った。 ・一市三町若年性認知症を考える会では、フレンドシップカフェを感染対策に気を付けながら対面開催を行った。 ・zoomによるメイト連絡会の開催 	
チームオレンジ における工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座終了後のフォロー研修を行った。 ・チームオレンジの活動拠点となる認知症カフェ開設等の支援や運営の補助を行った。 	
担当課名	高齢介護課 電話：0465-33-1864	

市町村名	茅ヶ崎市	
テーマ	オレンジ Day から始まる地域へのカフェの展開	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	246,346人
	65歳以上人口（高齢化率）	65,562人（26.6%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	36,517人（55.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	令和4年度から 人数：14 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市役所
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成23年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：茅ヶ崎市認知症あんしんガイド 活用方法：関係機関、公共施設への配架による周知、サポーター養成講座時配布、窓口相談での活用等
	認知症カフェの開設	平成27年度から開設 カフェ数：8
	認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズ教室の実施等
	チームオレンジの取組	①設置済み（令和4年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・推進員の連絡会を設け、市と地域包括が情報交換できる場づくりを行っている。 ・認知症の普及・啓発のために年1回「ちがさきオレンジ Day」を開催している。 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジ Day のシンポジウムを Zoom でも開催した。 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座開催時、地域包括と講座受講者の顔合わせができるようにグループワークを設けている。 ・オレンジ Day の運営等に協力してもらえよう、開催時はステップアップ講座の修了者に対し周知を行っている。 	
担当課名	高齢福祉介護課 電話：0467-82-1111（代表）	

市町村名	逗子市	
テーマ	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための支援体制を構築	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	58,959人
	65歳以上人口（高齢化率）	18,423人（31.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	11,161人（68.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成26年度から 人数：4 職種：看護師 3人 保健師 1人
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市役所
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和元年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	令和元年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：各包括、相談事業等での活用、市内医療機関への配布
	認知症カフェの開設	平成28年度から開設 カフェ数：4 (内、1か所閉止中)
	認知症予防の取組	取組内容：カフェ開催・相談・サポーター養成講座・初期集中参加
	チームオレンジの取組	未設置（令和5年度設置予定）
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ開催（各包括毎に設置） ・家族のための物忘れ相談会（毎月開催） ・認知症予防講座開催 ・サポーター養成講座・ステップアップ講座開催 ・地区活動等での認知症に関する講座・コグニサイズ指導 等 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェのリモート開催 	
チームオレンジにおける工夫		
担当課名	社会福祉課 電話：046-873-1111（213）	

市町村名	三浦市	
テーマ	高齢者が多い市だからこそ頑張りたい認知症施策	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	41,306人
	65歳以上人口（高齢化率）	16,656人（40.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	9,238人（55.5%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：2 職種：社会福祉士、介護支援専門員
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施（予定）
	ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：三浦市認知症ガイド 活用方法：認知症の相談窓口や専門の医療機関を紹介する際に活用している。
	認知症カフェの開設	令和元年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：サロンにおけるコグニサイズや講話
チームオレンジの取組	未設置（令和4年度設置予定）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症等行方不明高齢者 SOS ネットワーク事業を市ホームページや介護事業所等に周知し、登録者には見守りシールを配布している。 ・認知症ケアパスを市内各医療機関、公共施設等に配架し、認知症の相談窓口や、認知症の症状に沿ったサービスが分かるようにしている。 ・推進員が認知症初期集中支援チームの対象者を見つけ、チームの支援に繋げている。 ・推進員が中心となり、サポーター養成講座を開催している。 ・認知症のママが営んでいる喫茶店で毎月認知症カフェを開催し、ママが煎れる本格コーヒーを飲みながら、ピアノ演奏を聞いたり、ママと会話を楽しむなど地域の交流の場となっている。 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座は少人数で開催をし、会場内のマスク着用を徹底した。 	
チームオレン ジにおける工 夫		
担当課名	高齢介護課 046-882-1111（内線352）	

市町村名	秦野市		
テーマ	認知症を支えるまちに ～イオン秦野店でのパネル展示～		
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	159,666人	
	65歳以上人口（高齢化率）	49,550人（31.1%）	
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	25,329人（51.1%）	
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：9 職種：保健師、看護師、社会福祉士	
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：直営	
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成29年度から実施	
	ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：そなえてあんしん！秦野市認知症ガイドブック 活用方法：窓口配架 講座での配付 ダイジェスト版を作製し、市内の商店等に配置し、市民に広く周知している。	
	認知症カフェの開設	平成27年度から開設 カフェ数：20	
	認知症予防の取組	取組内容：教えて先生！MCⅠと認知症予防（専門医による講演）、コグニサイズ教室、iPadによる脳の健康チェック、脳の健康教室（KUMON学習療法）、いきいきライフ交流会（脳の健康教室OB会）	
チームオレンジの取組	①設置済み（令和元年度から） ②設置済み（令和2年度から）		
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症とフレイル予防」をテーマに、仲間づくり、社会参加がフレイル予防と認知症予防になることを啓発するため、イオン秦野店で7日間パネル展示、リーフレット等の配付を行った。パネルは9枚用意し、各推進員が1枚ずつ作成した。「認知症ケアパス」「もしも」「地域で実践コグニサイズ」等の冊子が各80部以上なくなり、イオン秦野店と連携したことで、より多くの市民及び無関心層に啓発することができた。 		
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の中だったが、事前の検温、入室時の手指消毒を行い、感染予防に配慮しながら、事業を継続した。 		
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「困っている方がいたら、自然とチームオレンジが立ち上がっていくまち」を目指すため、当事者やその家族が認知症のことを相談しやすい地域づくり、当事者やその家族を受け止めることができる地域づくりを行うことを推進員と共有した。推進員が軸になり、当事者や家族、地域、医療、介護をつないでいく。 チームオレンジにつなげていくために、毎月開催している推進員研究会に推進員だけでなく、ボランティア団体にも参加を依頼し、認知症に対する取組を共有した。 		
担当課名	高齢介護課 電話：0463-82-7394		

市町村名	厚木市	
テーマ	普及啓発イベントへの取組について	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	223,836人
	65歳以上人口（高齢化率）	58,680人（26.2%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	30,586人（52.1%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：13 職種：看護師・保健師・介護支援専門員・社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：医療法人社団 青木末次郎記念会 相州病院
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和元年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：厚木市認知症ケアパス 活用方法：認知症関連事業等で配布
	認知症カフェの開設	令和元年度から開設 カフェ数：10
	認知症予防の取組	取組内容：物忘れ予防教室
	チームオレンジの取組	①設置済み（令和4年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<p>【あつぎオレンジ♥フェスタ 2022】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示（相談窓口、行政サービス、家族会などを紹介） ・認知症予防メニュー（定食）の提供 ・認知症関連図書展示（認知症に関する本、資料の展示） ・デジタルサイネージによる周知 ・サポーター養成講座 ・講演会「認知症と共に生きる」 ・認知症VR体験会 ・アミューあつぎ ライトアップ（オレンジ色） <p>【認知症サポーターステップアップ講座】</p> <p>【認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員との意見交換の実施】</p> <p>認知症対応困難ケースについて、情報を共有し、解決に向けて意見交換を実施した。</p>	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組		
チームオレンジ における工 夫		
担当課名	地域包括ケア推進課 電話：046-225-2047	

市町村名	大和市	
テーマ	認知症になってもあんしんやまと	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	244,421人
	65歳以上人口（高齢化率）	58,165人（23.8%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	31,817人（54.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：13（現在） 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援要員等
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市役所
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成29年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 名称：認知症になっても安心やまと 活用方法：相談窓口、事業周知等で活用、公共施設等で配布
	認知症カフェの開設	平成27年度から開設 カフェ数：15
	認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズセミナー、コグニサイズ教室の開催、コグニバイクの設置等
	チームオレンジの取組	①設置済み（令和4年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・推進員を「認知症コンシェルジュ」と呼称し、活動を行っている。 ・推進員は、地域包括の担当エリアごとに地域課題に取り組むことに加え、市全体として取組を行う課題別の部会（2部会）を設置し、部会活動を行っている。さらに、次年度に向けて地域課題を考えるWGを発足した。 ①認知症の人の声を聴く部会：若年性認知症本人ミーティング開催 ②チームオレンジに関する部会：チームオレンジ設置・活動方針検討、ステップアップ講座の内容検討・講座開催 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止を考慮した上で、3年ぶりに認知症講演会を開催。参加者：602名 ・コグニサイズを習慣化するための取組であるコグニサイズ教室事業を、開催回数や会場、講師人数、参加者の体調管理等に配慮した上で3年ぶりに開催。 ・大和市認知症1万人時代条例の理念をもとに、認知症の本人や家族を集めて意見交換会を開催。市の事業や来年度のアルツハイマー月間の取組などについて意見を伺った。 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにチームオレンジに近い活動をしているサポーターを地域包括所属の推進員が選定し、大和市の方針やチームオレンジの理念を説明した上で、チームメンバーになっていただいた。 ・認知症がある人やその家族等の「希望を叶える活動」をメインとし、「支援する側・される側」といったイメージを持たないようにサポーターに働きかけた。 	
担当課名	人生100年推進課 電話：046-260-5612	

市町村名	伊勢原市	
テーマ	地域包括圏域ごとの認知症施策の取組について	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	99,910人
	65歳以上人口（高齢化率）	26,793人（26.8%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	14,517人（54.2%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：9 職種：保健師、看護師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和2年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 名称：知ってあんしん認知症ガイドブック（認知症ケアパス） 活用方法：地域包括、医療機関、事業所、窓口、イベント等で周知している。
	認知症カフェの開設	平成29年度から開設 カフェ数：7
	認知症予防の取組	取組内容：介護予防教室の開催等
	チームオレンジの取組	②設置済み（令和2年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座、認知症カフェ、介護予防教室、認知症初期集中支援事業への事例の提供など認知症に関連する事業の企画等を行った。 ・推進員会議を月に1回程度開催し、各包括の活動の共有と認知症施策や事業の検討を行った。 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の認知症カフェにおいて、ZOOMを活用して開催しているところもある。 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・本市ではサポーターステップアップ研修を受講した方に対して、オレンジパートナー交流会を開催していたが、今年度よりチームオレンジの機能を強化していくことと、地域への課題に沿った支援を行うことを目的として、地域包括圏域ごとに、その地域に在住しているオレンジパートナー同士で交流をしていくこととした。現時点では、パートナー同士が主体的に支援するという体制はできていないが、今後各地域でサポート体制が構築できるよう支援したい。 	
担当課名	介護高齢課 電話：0463-94-4725（直通）	

市町村名	海老名市	
テーマ	「認知症の人と家族に優しいまちえびな」	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	138,964人
	65歳以上人口（高齢化率）	34,282人（24.7%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	18,186人（53.0%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成28年度から 人数：9 職種：保健師・看護師・社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：えびな在宅医療相談室
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和元年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：市、地域包括等や認知症関連事業で配布。
	認知症カフェの開設	平成28年度から開設 カフェ数：6
	認知症予防の取組	取組内容：普及啓発（サポーター養成講座等）
	チームオレンジの取組	未設置（令和5年度設置予定）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・推進員会議の開催（月1回） ・認知症初期集中支援チーム（チーム員会議年4回開催） ・認知症の正しい理解と普及啓発活動 アルツハイマーデーのイベント実施（講演会（講師 かながわオレンジ大使と支援者）、図書フェア（図書館と書店）、認知症予防ランチ（市内 11 飲食店）、海老名駅間デジタルサイネージ、パネル展、ケアパスの配布等 ・サポーター養成講座とステップアップ講座の実施 	
		
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を徹底し、認知症カフェ、サポーター養成講座、ステップアップ講座、認知症予防講演会を開催 ・市ホームページにコグニサイズや自宅でもできる介護予防等の動画、お役立ち情報などを掲載 	
チームオレンジ における工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場等で「認知症の人が通いやすい」「認知症になっても通うことができる」チームオレンジを設置予定。令和3年度から、推進員会議にて、チームオレンジ設置に向けて話し合いを重ね、令和4年度に伴走支援事業で助言を受けた。当事者、生活支援コーディネーター、地域包括職員、サロン等運営者・参加者、ステップアップ講座受講生等を巻き込んで設置したい。 	
担当課名	地域包括ケア推進課 電話：046-235-4950	

市町村名	座間市	
テーマ	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	
自治体の 情報	人口（令和5年1月4日現在）	131,527人
	65歳以上人口（高齢化率）	34,220人（26.0%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	18,327人（53.6%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：17 職種：保健師、看護師、社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：座間市相模が丘地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：座間市認知症ケアパス 活用方法：個別相談時の利用、HP掲載、認知症関連講座・イベントで配布、関連団体への配付
	認知症カフェの開設	平成28年度から開設 カフェ数：3
	認知症予防の取組	取組内容：講演会、認知症予防教室（ファイブ・コグ実施）
チームオレンジの取組	未設置（令和6年度設置予定）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・推進員連絡会の開催（偶数月） チーム員も参加し、各推進員の活動報告をもとに、情報共有や意見交換を実施した。 ・アルツハイマーデーイベント 市及び各地域包括で認知症に関する普及啓発を目的で開催した。市内複数か所で地域開催ができた。 ・サポーター養成講座 通年、市内各地で開催。子ども向けの講座や職域向けの講座も開催した。講座後に座談会を設け、介護者支援・本人発信の機会を併設した。 ・オレンジパートナーとの協働 上記活動を市内オレンジパートナーとともに実施。パートナーの主体性、意見を尊重して協働した。 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動を、人数や会場等を工夫し、開催が継続できるようにした。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度チームオレンジ設置に向けて、市担当課の推進員で方向性を具体的に検討している。 ・地域包括の推進員も協働できるよう、打ち合わせを実施していく。 ・すでに地域で活動している関連団体の取組を、チームオレンジに活かせるよう検討している。 	
担当課名	介護保険課 電話：046-252-7084	

市町村名	南足柄市	
テーマ	コロナ禍における認知症カフェの実施について	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	41,038人
	65歳以上人口（高齢化率）	13,660人（33.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	7,704人（56.4%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：13（委託包括を含む） 職種：主任介護支援専門員、保健師、看護師、社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：直営基幹型地域包括内
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和3年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 名称：南足柄市認知症ケアパス 活用方法：市ホームページに掲載
	認知症カフェの開設	平成28年度から開設 カフェ数：2
	認知症予防の取組	取組内容：健康づくり課主催で認知症予防教室を開催。 介護予防サポーターが地域で脳トレ教室を開催。
	チームオレンジの取組	① 設置済み（令和3年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・当市では認知症地域支援アクションミーティングを実施している。参加者は①認知症カフェ、②農園活動、③認知症支援マップの作成、④講演会の企画運営の4チームに分かれ、活動を行っている。それぞれのチームにはオレンジパートナー、医療福祉の関係者、民生委員などが参加しており、推進員が中心となって活動を行っている。このアクションミーティングの活動がチームオレンジの活動になっている。アクションミーティングの他、認知症家族のつどいやもの忘れ相談会、認知症初期集中支援チーム等の認知症事業を行っている。 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出の機会の確保のため、認知症カフェをできるだけ開催できるように、感染症対策を行っている。お菓子はお土産形式にし、その場では食べないようにしたり、黙食の時間を作り、全員が食べ終わったテーブルから話をする時間にするなどの工夫をしている。 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく何かを始めるといことには拘らず、今まで重ねてきた活動を更に強化・発展させられるように、チームでの話し合いを行っている。また、ゲストスピーカーを招き、様々な地域での活動や当事者の声を聞くことで、活動内容やチームメンバーの意識付けを促している。 ・オレンジパートナーや本人に活動を継続してもらうため、声掛けを意識している。 	
担当課名	高齢介護課 電話：0465-74-3196	

市町村名	綾瀬市	
テーマ	VR を用いた認知症理解の促進	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	84,376人
	65歳以上人口（高齢化率）	23,032人（27.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	12,947人（56.2%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成30年度から 人数：5 職種：社会福祉士、介護福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：直営
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：全戸配布の冊子に掲載して普及啓発を実施
	認知症カフェの開設	平成29年度から開設 カフェ数：4
	認知症予防の取組	取組内容：コグニバイクの設置及び講習会の実施、複合型の介護予防事業で認知症予防プログラムを実施、コグニサイズ教室の実施、広報紙への認知症予防に関するコラムの掲載
チームオレンジの取組	未設置（令和5年度設置予定）	
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> 【推進員活動】 75歳以上の一人暮らし高齢者に対し、生活状況確認のための戸別訪問を実施 認知症に関するコグニサイズなどの出前講座の実施 【サポーター養成講座】 若い世代に向けた認知症理解促進のため、学校でのサポーター養成講座の実施 今年度よりサポーター養成講座にVRを用いた講座を追加 【会議など】 認知症初期集中支援チーム員会議・推進員連絡会の実施 消費生活センターと包括の情報交換会を実施 【普及啓発】 全戸配布の冊子に、認知症ケアパスや認知症に関する相談先・事業を掲載 市広報紙へ認知症予防のコラムや、アルツハイマーデーの周知記事の掲載 【事業】 複合型の介護予防事業でコグニサイズなどの認知症予防プログラムを実施 コグニバイクの設置及び講習会の実施 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 【推進員活動】 緊急事態宣言中には、75歳以上一人暮らし高齢者に対し、認知症などの相談先として、地域包括の周知や、介護予防の情報提供のチラシのポスティングを実施。 	
チームオレンジにおける工夫		
担当課名	地域包括ケア推進課 電話：0467-77-1116	

市町村名	葉山町	
テーマ	認知症になっても安心して暮らせるまちをつくる	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	32,639人
	65歳以上人口（高齢化率）	10,212人（31.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	6,100人（30.4%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成28年度から 人数：8 職種：介護支援専門員、社会福祉士、看護師、保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：町役場
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成30年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	令和元年度作成 名称：知ってあんしん 認知症ガイドブック（認知症ケアパス） 活用方法：相談初期の相談時、窓口や訪問にて活用。
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数：2
	認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズ教室の実施
チームオレンジの取組	未設置（未定）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	・認知症講演会：外部講師による普及啓発のための講演会の開催予定。	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組		
チームオレン ジにおける工 夫		
担当課名	福祉課 電話：046-876-1111（内238）	

市町村名	寒川町	
テーマ	認知症患者等への手厚い個別支援と地域支援体制の構築で認知症になっても安心して過ごせる町へ	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	49,063人
	65歳以上人口（高齢化率）	13,458人（27.4%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	7,048人（52.4%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成29年度から 人数：1 職種：社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 チーム 設置場所：町
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成30年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：高齢者ガイド 活用方法：町内の公共施設・医療機関等に配架、ホームページに掲載
	認知症カフェの開設	平成29年度から開設 カフェ数：3
	認知症予防の取組	取組内容：介護予防教室等の実施
チームオレンジの取組	① 設置済み（令和4年度から）	
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム事業を町が主体となって実施し、年間100回以上の訪問を日々行いながら、月1回チーム員会議を実施している。また、住民に向けたサポーター養成講座及びステップアップ講座を年2回以上実施し、町内の団体や企業に対する出前講座も積極的に行っている。 上記に加え、認知症カフェの開催支援やアルツハイマー月間におけるイベントの実施、ケアパスの配布、チームオレンジの設置・活性化等認知症支援体制の構築に幅広く取り組んでいる。 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 以前認知症カフェではお菓子や紙コップでお茶等を提供していたが、お茶をペットボトルで提供するようにし、お菓子は持ち帰っていただく形式に変更した。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> 人口が少なくコンパクトな当町の特徴を生かし、町全体で1つのチームオレンジを設置することとし、メンバーの登録・管理等は町が主体となって実施している。 今後は意欲の高いメンバーにチームオレンジの活動の場やイベント等を企画してもらい、町は登録者全員にその周知等を行うかたちでチームの活性化を図る予定である。 	
担当課名	高齢介護課 電話：0467-74-1111（代表）	

市町村名	大磯町	
テーマ	認知症を知り、身近に感じてもらえるまちづくり	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	32,265人
	65歳以上人口（高齢化率）	11,118人（34.5%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	6,262人（56.3%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成30年度から 人数：2 職種：社会福祉士、保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	令和2年度作成 名称：認知症ガイドブック（大磯町認知症ケアパス） 活用方法：窓口配布、サポーター養成講座にて配布（中学校）
	認知症カフェの開設	カフェ数： 0
	認知症予防の取組	取組内容：スクエアステップのひろば、予防教室
チームオレンジの取組	未設置（未定）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に協力依頼し認知症コーナーを設置。 9月の1か月間、図書館に認知症や介護に関する本と普及啓発の冊子やチラシを設置し、来館した多くの方に手に取ってもらえた。 ・認知症に関するチラシや冊子をまとめたミニコーナーを設置。（保健センター内） ・サポーター養成講座の実施。（金融機関） 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアパスの見直し 普及啓発に関するツール不足の課題があり、既存のケアパスを見直しガイドブックを令和2年度に作成。 	
チームオレン ジにおける工 夫		
担当課名	福祉課 電話：0463-61-4100	

市町村名	二宮町	
テーマ	自立で安心、地域でいきいきとふれあうまちづくり	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	27,925人
	65歳以上人口（高齢化率）	9,856人（35.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,786人（58.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成29年度から 人数：1 職種：社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：二宮町役場
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施（予定）
	ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：二宮町認知症ケアパス～認知症とともに暮らす道しるべ～ 活用方法：高齢者や介護者、関係機関へ配布
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数：2
	認知症予防の取組	取組内容：地域の通いの場で講座の実施等
チームオレンジの取組	未設置（令和5年度設置予定）	
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防の推進 認知症に関する正しい知識の普及（学校の授業の一環として町内の中学校で、また町職員研修等でサポーター養成講座を実施、世界アルツハイマー月間中に、丹野智文さん講演会「認知症とともに生きる」を開催） 認知症の予防（地域の通いの場で継続的な認知症予防の取組を実施） 相談・支援体制の充実 広報やホームページを通じて相談窓口の周知 にのになカフェ（認知症カフェ）、認知症サポーターのつどいを定期的実施 認知症講演会等における本人ミーティングの開催 	
	   	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> にのになカフェ（認知症カフェ）に、オンラインで参加できるようにしている。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度、県のチームオレンジ市町村伴走支援を受け、チームオレンジについて検討している。 	
担当課名	高齢介護課 電話：0463-75-9542	

市町村名	中井町	
テーマ	認知症の理解を深め、地域で支え合える環境について考える	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	9,068人
	65歳以上人口（高齢化率）	3,247人（35.8%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	1,686人（51.9%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成29年度から 人数：1 職種：介護福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：中井町（保健福祉センター）
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：相談、地域の集まりでの啓発等に使用
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：和太鼓エクササイズ（コグニサイズ教室） 地域の集まり等での講話・啓発等の実施
チームオレンジの取組	未設置（未定）	
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ事業 今年度年間12回のカフェを企画し実施中（感染症対策に伴い2回休止）参加者同士が話ができ、共有できる時間を多く持てるよう調整を図った。 ・サポーター養成講座 町消防団（新規実施）、小学校2校（2年目）、一般町民、町職員を対象に実施。 ・アルツハイマーデー・月間における啓発活動（左写真） これまでに続き、町図書館との連携事業として認知症関連書籍等の展示コーナーを設置。 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に留意した中で各事業を実施してきたが、特に認知症カフェについては、プログラムを設定せず、参加者間の交流や懇談をメインに実施する機会を設けたことで、参加者間で状況を共有できたことに参加者からの好評を得た。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジについては現在設置に向けた調整を図っており、引き続き設置に向けたスケジュール調整等推進員、包括等関係者との協議を進めていく。 	
担当課名	健康課 電話：0465-81-5546	



市町村名	大井町	
テーマ	認知症カフェが地域の憩いの場に	
自治体の 情報	人口（令和4年11月30日現在）	17,370人
	65歳以上人口（高齢化率）	4,980人（28.7%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,670人（53.6%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成25年度から 人数：3 職種：保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：2 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成28年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	令和元年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：希望者に配布
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：おい！元気会にてコグニサイズの実施
チームオレンジの取組	②設置済み（令和4年度から）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年、サポーター養成講座開始。 ・2011年、認知症家族のつどい発足（1回/2ヶ月開催）。 ・2013年、推進員配置。 ・2016年、認知症サポーターステップアップ講座開始。 ・2018年、町民と協働で認知症カフェ開店オレンジカフェひだまり（毎月開催）。 認知症初期集中支援チームの設置。 ・2019年、認知症ガイドブック作成。 ・2021年、オレンジライトアップ開始。 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・開催会場を変更。以前より広い会場でテーブルの間隔を広く取り実施。申し込み制。参加人数の把握。体温測定・消毒の実施。 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業のボランティアが認知症ステップアップサポーターとして活動中。認知機能の低下により介護予防事業に参加が難しくなった方を認知症カフェに誘う、逆にカフェから介護予防事業に誘う、一般町民として近所の認知機能低下が心配される方には散歩がてら声をかけてカフェに誘うという流れができています。新規参加者の方が参加しやすいように、町民ボランティアによるイベントを行い、誘いやすい・参加しやすいカフェを目指している。今年度12月末より、チームオレンジとして位置づけ実施する。 	
担当課名	福祉課 電話：0465-83-8024	

市町村名	松田町	
テーマ	住民と共同で地域を支える取組の推進	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	10,614人
	65歳以上人口（高齢化率）	3,720人（35.1%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,080人（55.9%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：3 職種：社会福祉士、保健師、看護師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成28年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	令和元年度作成 名称：認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして 活用方法：窓口相談時、サポーター養成講座時、介護保険事業所、医療機関等に配布
	認知症カフェの開設	平成29年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：認知症予防サークルに継続実施支援、（3カ所）、認知症予防・介護予防を住民主体の自主グループでの運動教室支援
チームオレンジの取組	①設置済み（令和4年度から）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ【MATSUDA おれんぢかふゑ】を住民ボランティア団体（チームオレンジ）と共に月1回、認知症家族のつどい年4回、おれん路散歩年2回開催、ボランティア現任研修年2回実施。 認知症初期集中支援チーム活動、家族介護教室（年6回）、サポーター養成講座（新：中高生親子サマーセミナー） 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大第1波時、認知症予防サークル一時中止。自宅でも認知症予防に取り組めるよう、手紙と脳トレ課題を郵送で送付すると共に、参加者全員に電話で身体状況等の確認を実施。 認知症カフェ第1波時中止とし、ボランティアが常連の参加者宛に個々で手紙（絵葉書）を書き、カフェの様子を写真にし、アルバムファイルを作成し自宅に届け、身体・精神状態の確認を実施。再開時、「とても嬉しかった」と涙を流して喜んで下さる方が多かった。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> いつもMATSUDA おれんぢかふゑ【認知症カフェ】に参加している当事者の方をチームの一員として一緒にカフェを運営している。できるだけ当事者目線を大切に運営すると共に意見を共有するようにしている。 年2回現任研修を行い、地域でできること、チームオレンジの意味を明確にしつつ、日常生活でも地域に目を配り、支え・支援できるようにしている。 	
担当課名	福祉課 電話：0465-83-1226	

市町村名	山北町	
テーマ	チームオレンジの立ち上げに向けて	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	9,590人
	65歳以上人口（高齢化率）	4,014人（41.9%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,080人（51.8%）
	認知症地域支援推進員の配置	令和2年度から 人数：1 職種：保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施（予定）
	ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：「認知症ガイドブック」 活用方法：全戸配布
	認知症カフェの開設	令和元年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：教室の開催
	チームオレンジの取組	②設置済み（令和4年度から）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座（健康普及員対象、中学3年生） ・認知症サポーターステップアップ講座（介護予防教室のボランティアを対象とした） ・認知症カフェ（10月から第四金曜日に緑茶カフェを借りて開催。10名ほど参加した。座談と音楽） ・通いの場（生活支援コーディネーターに協力した。公民館を借り、認知症の有無に関わらず、家に閉じこもりがちな高齢者を集めて歌やハンドベルを行った。） 	
新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校でのサポーター養成講座では、各教室にオンライン配信で行った。 	
チームオレン ジにおける工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の介護予防塾のボランティアを対象にステップアップ研修を実施し、チームオレンジとしての活動も目指している。 	
担当課名	保険健康課 電話：0465-75-3642	

市町村名	開成町	
テーマ	認知症に関する講座の実施の工夫について	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	18,566人
	65歳以上人口（高齢化率）	4,681人（25.2%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,564人（54.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：1 職種：社会福祉士
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：町
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成27年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：希望者・講座等で配布、HPへの掲載
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：地域体操サロンでコグニサイズを実施
	チームオレンジの取組	未設置（未定）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマーデーに合わせて認知症特集記事を広報へ掲載。それを皮切りに、サポーター養成、ステップアップ講座、高齢者等徘徊 SOS 模擬訓練（声掛け訓練）を実施した。 ・サポーター養成講座は土曜日開催にし、普段参加できない年齢層へのアプローチを行った。 ・ステップアップ講座は、精神科認定看護師を講師に迎え、認知症の方との関わり方について病棟での実践を踏まえて、具体的な対応について講義をしていただいた。 ・声掛け模擬訓練は、見守りや声かけのポイントの確認をし、実際に他者に声をかける実習を行い、福祉部門と連携し実施した。警察署からも講師を招き行方不明になった方がいた際の初動について、保健福祉事務所保健予防課から認知症等行方不明 SOS ネットワークについて制度説明をしていただいた。 ・今まで、別々に行っていた事業をまとめて実施することで一体感をもって認知症施策を実施できた。 ・地域ケア会議のテーマを「認知症」にし、認知症の方や支援者の声を聞きながら、ケース検討を実施し、地域課題等について学びを深めていきたい。 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・社協では、サロン活動が中止となり代替として、壁面制作を行った。参加者へ自宅でできる色塗りやパーツの作成依頼し、会館へ提出してもらい、それらを合わせ一つの作品へ作りあげた。参加者とのつながりの継続、外出機会の創出となった。 	
チームオレンジ における工 夫		
担当課名	福祉介護課 電話：0465-84-0316	

市町村名	箱根町	
テーマ	認知症カフェの新規立ち上げ	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	10,845人
	65歳以上人口（高齢化率）	4,142人（38.1%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,271人（54.8%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成29年度から 人数：2 職種：社会福祉士、介護支援専門員
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：行政機関の窓口配架、相談初期の説明時に使用
	認知症カフェの開設	令和4年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：脳と体の若返り教室及びコグニサイズの普及
	チームオレンジの取組	未設置（令和6年度設置予定）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月～認知症カフェ（愛称：キャロットカフェ）を月1回開催 認知症をにんちしよう会において、認知症と観光をテーマにした動画を制作しYouTubeにて公開 アルツハイマー月間にあわせ、認知症に関する記事を「回覧まちだより」に掲載 町職員及び中学生を対象としたサポーター養成講座を開催予定 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組		
チームオレン ジにおける工 夫		
担当課名	福祉課 電話：0460-85-7790	

市町村名	真鶴町	
テーマ	地域で認知症の方を見守り・支えられる町づくり	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	6,880人
	65歳以上人口（高齢化率）	1,320人（44.0%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	1,706人（56.4%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：1 職種：保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：1（地域包括）
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：公共機関等配架
	認知症カフェの開設	無
	認知症予防の取組	取組内容：認知症予防教室実施
チームオレンジの取組	未設置（未定）	
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> 世界アルツハイマー月間における普及啓発 9月の世界アルツハイマー月間中、役場内をオレンジ色に装飾、チラシ配架し、アルツハイマー月間において認知症を正しく理解することの大切さを普及啓発。 お達者教室 コグニサイズを含めた認知症予防教室 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> 町内の感染状況に応じて事業を実施。実施する際は、基本的な感染対策を行っている。 	
チームオレンジにおける工 夫		
担当課名	健康長寿課 電話：0465-68-1131	

市町村名	湯河原町	
テーマ	認知症の方とその家族を支える地域づくり	
自治体の情報	人口（令和4年11月30日現在）	23,902人
	65歳以上人口（高齢化率）	10,102人（42.3%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,831人（57.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：5 職種：介護支援専門員、看護師、介護施設職員
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	令和3年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：役場窓口、医療機関、協力機関等で配布
	認知症カフェの開設	令和4年度から開設 カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：頭の体操教室、iPadを使った脳若トレーニング、公園体操（コグニサイズ）の実施
チームオレンジの取組	未設置（未定）	
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム員会議の開催（西湘地域一市三町（小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町）の広域で実施） ゆがわら・まなづる家族会を2か月に1回湯河原町と真鶴町で交互に開催。介護者同士の交流や医療・介護の専門職との情報交換の場として活用 認知症をにんちしよう会（西湘地域一市三町の行政、地域包括、医療関係者、介護関係者からなる会）により、認知症啓発フォーラムやイベントを実施 一市三町若年性認知症を考える会（西湘地域一市三町の行政、県、認知症疾患医療センター、医療関係者からなる会）により、主に若年性認知症患者の当事者、家族、関係者の情報交換の場としてフレンドシップカフェ、医療・介護関係者のための意見交換会、体験談集の作成を実施 サポーター養成講座の開催及びメイト講師派遣、ステップアップ講座開催 生活支援コーディネーターを中心に認知症カフェの立ち上げを支援、今年度から活動開始 世界アルツハイマーデーに合わせ、町広報誌、ホームページ、駅前大型電光掲示板等での周知、図書館での認知症啓発コーナーの設置により、啓発活動を実施 成年後見制度利用支援、ひとり暮らし高齢者等・認知症等行方不明SOSネットワーク登録推進 頭の体操教室、iPadを使った脳若トレーニング、公園体操（コグニサイズ）などの介護予防事業の実施 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ZOOMを利用した会議の実施 検温・消毒・換気の実施、定員や開催場所など余裕を持った会場など、新型コロナウイルス感染症からの新たな日常に向けて感染症予防を実施しながらのイベント開催 	
チームオレンジにおける工夫		
担当課名	介護課 電話：0465-63-2111 内線 345	

市町村名	愛川町	
テーマ	いつまでも住み慣れた地域で自分らしく	
自治体の 情報	人口（令和4年12月31日現在）	39,601人
	65歳以上人口（高齢化率）	12,325人（31.1%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	6,122人（49.7%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：2 職種：保健師1、事務職1
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：認知症あんしんガイド 活用方法：相談初期の説明用に使用、窓口に配架
	認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数：2
	認知症予防の取組	取組内容：認知症予防教室（コグニサイズプログラム）
	チームオレンジの取組	未設置（設置予定時期未定）
認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む）	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマーデーの周知記事の掲載 ・認知症に関する正しい知識の普及（学校の授業の一環として愛川高校でサポーター養成講座を実施） 	
新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な感染症対策をしたうえで、カフェの運営を実施。 	
チームオレン ジにおける工 夫		
担当課名	高齢介護課 電話：046-285-6938	

市町村名	清川村	
テーマ	認知症について村民の誰もが正しい知識を持ち、早期に相談できる体制・地域で支える関係づくり	
自治体の情報	人口（令和4年12月31日現在）	2,860人
	65歳以上人口（高齢化率）	1,065人（37.2%）
	75歳以上人口（高齢者に占める割合）	479人（45.0%）
	認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：1 職種：保健師
	認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括支援センター
	認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施
	ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：清川村認知症あんしんガイドブック 活用方法：相談初期の説明用に使用
	認知症カフェの開設	令和3年度から開設（新型コロナウイルスの影響により令和2年度から実施予定だったが延期となった） カフェ数：1
	認知症予防の取組	取組内容：認知機能向上教室（一般介護予防事業）の実施
	チームオレンジの取組	①設置済み（令和4年度から） ②設置済み（令和4年度から）
認知症に係る主な取組（推進員活動含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・社協と連携をとりながら、住民主体による住民活動（見守り、お茶飲み、体操、散歩等のサロン活動）の支援、サポーター養成講座及びステップアップ講座等を実施。支援の必要な方の早期対応に努めている。 ・独居・高齢者世帯への配食サービスによる地域の見守りの実施 ・75歳以上の独居高齢者の訪問等による把握 ・引きこもり・軽度認知症の方などに対する通所型サービスAの実施 ・認知機能向上教室（一般介護予防事業）の実施 ・行方不明高齢者に対する「おでかけ安心キーホルダー」の配布 ・高齢者等徘徊位置検知システム機器等購入費助成 ・「包括だより」や、村広報紙に認知症の正しい知識を掲載 ・世界アルツハイマー月間の9月に図書館内で、認知症について啓発事業の実施 ・介護家族交流会（認知症の方の家族も含む）の実施 ・村主催の認知症カフェの実施 	
新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能向上教室（一般介護予防事業）において、感染予防の対策を行いながら実施。 ・介護家族交流会で、宮ヶ瀬園地内の散策を行うなど屋外でも実施。 ・村主催の認知症カフェでは飲食を中止し、感染予防の対策を行いながら実施。 	
チームオレンジにおける工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・県の伴走支援により内容を検討し、令和4年度からステップアップ講座やチームオレンジの取組を実施。 ・老人会や婦人会など、既存の活動を活かしてチームオレンジとしても継続できるようにした。 ・当事者に関わる近隣住民や介護事業所など、少人数のチームづくりを実施した。 	
担当課名	保健福祉課 電話：046-288-3861（直通）	

3 各保健福祉事務所・センターにおける認知症の取組

神奈川県では、保健所設置市（横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市、相模原市、茅ヶ崎市）を除く 26 市町村を、8か所の保健福祉事務所・センターが所管し、認知症についてさまざまな取組を実施しています。（寒川町は茅ヶ崎市保健所が業務を担っています。）

次のページから県の保健福祉事務所・センター、茅ヶ崎市保健所の取組や今後の取組を掲載しています。担当課や連絡先も記載してありますので、「もっと知りたい！もっと聞きたい！」という場合は、アクセスしてみてください。

保健福祉事務所	所管地域	ページ番号
平塚保健福祉事務所 保健予防課	平塚市、大磯町、二宮町	45
平塚保健福祉事務所 秦野センター 保健予防課	秦野市、伊勢原市	
鎌倉保健福祉事務所 保健予防課	鎌倉市、逗子市、葉山町	46
鎌倉保健福祉事務所 三崎センター 保健予防課	三浦市	
小田原保健福祉事務所 保健予防課	小田原市、箱根町、 真鶴町、湯河原町	47
小田原保健福祉事務所 足柄上センター 保健予防課	南足柄市、中井町、 大井町、松田町、 山北町、開成町	
厚木保健福祉事務所 保健予防課	厚木市、海老名市、 座間市、愛川町、清川村	48
厚木保健福祉事務所 大和センター 保健予防課	大和市、綾瀬市	
茅ヶ崎市保健所 保健予防課	茅ヶ崎市、寒川町	49

保健福祉事務所名	平塚保健福祉事務所
管轄市町村	平塚市、大磯町、二宮町
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医師によるもの忘れ・認知症相談を月1回実施 ・管内公共施設にて、認知症に関する展示を実施し、普及啓発を行った。 ・平塚市と協力し、認知症カフェ運営団体の交流会を開催。認知症カフェの開催方法や認知症カフェをさらに発展させていくための方法等について、情報交換を行った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町の認知症施策担当者との会議や管内市町・警察・県高齢福祉課等による認知症等行方不明者SOSネットワークの担当者会議を開催し、取り組み内容や現状について情報共有を行い、今後の連携について確認していきたい。 ・若年性認知症に関する取組として、職域等を対象とした講演会や本人と家族のつどいを開催していきたい。
担当課名	保健予防課 電話：0463-32-0130（代）

保健福祉事務所名	平塚保健福祉事務所秦野センター
管轄市町村	秦野市、伊勢原市
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れ相談を月1～2回程度、来所または訪問で実施し、本人や家族、支援者への相談に対応した。 ・専門職派遣事業として、認知症支援に関わる介護支援専門員等を対象にした研修を共催で実施した。参加者からは好評であり、継続して企画していきたい。 ・若年性認知症患者の実態や支援状況等を把握するため、医療機関へのヒアリング、地域包括支援センターへ実態調査を実施した。その結果見えてきた課題に対して、相談窓口を明確するためのチラシ作成・配布、保健所が中心になり関係機関との調整を担うこととし、実際に支援を行っている。また、地域・職域ネットワーク等で職域を含めた普及啓発を行った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症患者の支援について、管内の関係機関の連携体制を構築するため、各機関が強みを活かして連携しながら支援を行えるよう、研修や事例検討等を行ってきたい。また、本人や家族のつどいを実施する予定である。
担当課名	保健予防課 電話：0463-82-1428

保健福祉事務所名	鎌倉保健福祉事務所
管轄市町村	鎌倉市、逗子市、葉山町
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住民や地域関係者を対象とした、こころの健康相談（認知症相談）の開催、認知症の個別相談や家庭訪問を実施した。次年度以降も、住民や地域関係者が専門医等に相談出来る場を企画し、関係者と共に対象者に対し支援して行きたい。 ・認知症 SOS ネットワークを通じて、認知症高齢者が行方不明になった際に関係機関へ捜索依頼を周知した。
今後の取組	・こころの健康相談（認知症相談）や個別の支援、認知症SOSネットワーク等を通じ、対象者支援を継続していく。
担当課名	保健予防課 電話：0467-24-3900 内線 251

保健福祉事務所名	鎌倉保健福祉事務所三崎センター
管轄市町村	三浦市
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症に関する対策会議として、若年性認知症コーディネーターや管内市担当者や「認知症施策ネットワーク会議」を開催し、現状把握や課題の共通認識を行った。 ・管内市や警察による SOS ネットワークの担当者会議に出席し、ネットワークの取組内容や現状についての情報共有を行った。
今後の取組	・上記の取組を継続実施していく。
担当課名	保健予防課 電話：046 - 882 - 6811

保健福祉事務所名	小田原保健福祉事務所
管轄市町村	小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について随時相談を受け付けているほか、月1回精神科医による定例相談（予約制）を実施している。 ・市町や関係機関で共催している「小田原・箱根・真鶴・湯河原の一市三町若年性認知症を考える会」では、若年性認知症本人やその家族等を対象とした交流・相談会や、関係機関を対象とした意見交換会などを定例で開催している。普及啓発活動のひとつとして体験談集の制作に取り組み、執筆には当事者の家族にも協力頂いた。現在は市町で開催される認知症カフェや家族会で若年性認知症の視点を取り入れるなど、活動に拡がりが見られている。 ・世界アルツハイマーデーに伴う普及啓発事業として、合同庁舎内でポスター掲示、パンフレット等の配架を実施した。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・職域への若年性認知症の普及啓発を検討していく。 ・R4 年度 SOS ネットワーク担当者会議は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止とした。次年度の実施に向けて取り組んでいく。
担当課名	保健予防課 電話：0465-32-8000

保健福祉事務所名	小田原保健福祉事務所足柄上センター
管轄市町村	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月1回定例のもの忘れ相談及び随時相談（電話・来所）の実施。もの忘れ外来受診や地域包括センターにつなげた。 ・コグニサイズ 看護学生を対象に実施。 ・開成町主催の行方不明高齢者への声掛け訓練にて SOS ネットワーク及び訓練の講評。実際の対応方法について確認。 ・年度末に管内市町の認知症担当者へ認知症施策に対するヒアリングを実施し、現状把握をしていく予定。 ・世界アルツハイマーデーに伴い合同庁舎玄関にポスター掲示及び「家族の会」等のチラシを配架した。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・定例・随時もの忘れ相談の継続。 ・管内市町の認知症担当者会議の開催。
担当課名	保健予防課 電話：0465-83-5111

保健福祉事務所名	厚木保健福祉事務所
管轄市町村	厚木市、海老名市、座間市、愛川町、清川村
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医師による精神保健相談（もの忘れ・認知症相談含む）を実施している。ご家族・関係者のみの相談も可能。 ・管内市町村、警察、保護協力施設に出席いただき、認知症行方不明 SOS ネットワークの担当者書面会議を開催し、ネットワークの取組内容や現状についての情報共有を行っている。 ・サポーター養成講座の実施。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症に関する研修会 ・認知症の精神療法に関する研修会
担当課名	保健予防課 電話：046-224-111

保健福祉事務所名	厚木保健福祉事務所大和センター
管轄市町村	大和市、綾瀬市
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度、精神科専門医による認知症相談を実施（来所又は訪問）。ご家族や地域包括等の関係機関から、処遇困難な対象への相談に対応した。今後も継続していきたい。 ・認知症等行方不明 SOS ネットワークに基づき、搜索依頼、解除の実施。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症疾患医療センター、管内市町村、地域包括、警察による認知症担当者連絡調整会議を開催し、今年度の取組内容や現状、課題、次年度の方向性について、情報共有する。 ・支援者を対象として、「認知症の問題行動と妄想性障害」をテーマにオンライン研修会を開催する。
担当課名	保健予防課 電話：046-261-2948

保健福祉事務所名	茅ヶ崎市保健所
管轄市町村	茅ヶ崎市、寒川町
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・保健予防課では若年性認知症の定例事業として、本人ミーティングを毎月1回実施している。管内以外の地域からも参加希望者があり、積極的に受け入れをしている。また、家族会である「うみの会」は自主グループとして年4回、本人ミーティングの同日に開催しており、保健所は事務や会場予約等のサポートを行っている。 ・市、町で開催される認知症初期集中支援チーム員会議に担当保健師1名が出席し、初期集中支援との連携・協力を行っている。 ・若年性認知症支援者研修を年1回実施。今年度は2月15日に湘南東部総合病院と藤沢市との共催で研修会を実施予定である。管内だけではなく、藤沢市や広域にも周知・普及啓発を行っていく。 ・SOSネットワークへの参画。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティングは次年度も継続、うみの会の支援も継続して行う。 ・若年性認知症支援者研修についても、今回のような共催といった形で開催するかは未定であるが、継続開催の予定。
担当課名	保健予防課 電話：0467-38-3315

4 認知症地域支援推進員研修及び県内配置状況

(1) 研修の目的

認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続するためには、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援を行うことが重要である。

各市町村における認知症の人への支援体制を構築していくための担い手となる「認知症地域支援推進員」は、自らの市町村における支援員としての役割や具体的な活動を考え、また、設置する市町村や保健福祉事務所は、「認知症地域支援推進員」に対する支援のあり方を考える機会とする。

令和元年度からは、経験に応じた内容とするため、新任者・現任者に分けて研修を実施している。

(2) 研修内容・プログラム

○新任者研修：令和4年6月16日（木）オンライン開催

時間	内容及び講師
9:30～11:00	○講義 「国の認知症施策の方向性と現状、推進員の位置づけと役割の理解」 (認知症介護研究・研修東京センター) 「神奈川県認知症施策について」 (県高齢福祉課) 「若年性認知症についての理解と支援」 (曾我病院 若年性認知症支援コーディネーター)
11:30～12:00	○グループワーク①
13:00～13:30	○事例発表(秦野市福祉部高齢介護課)
13:30～14:00	○かながわオレンジ大使・支援者による講演
14:10～15:30	○グループワーク②
15:40～16:30	○発表
16:30～17:00	○講評 ○事務連絡

○現任者研修：令和5年1月23日（月）オンライン開催

時間	内容及び講師
9:30～11:00	○講義 「国の認知症施策の方向性と現状、推進員の位置づけと役割の理解」 （認知症介護研究・研修東京センター） 「神奈川県認知症施策について」 （県高齢福祉課） 「認知症疾患医療センターについて」 （メモリーケアクリニック湘南）
11:25～12:00	○グループワーク①
13:00～13:30	○かながわオレンジ大使による講演
13:30～14:00	○講義 「若年性認知症についての理解と支援」 （久里浜医療センター 若年性認知症支援コーディネーター）
14:10～15:40	○グループワーク②
15:50～16:30	○発表
16:30～17:00	○講評 ○事務連絡

(3) 推進員配置状況（累計）

区分	H24年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
配置市町村数	2	3	5	25	22	31	33	33	33	33	33
配置人数	2	3	5	37	66	108	126	132	146	188	211

※配置状況は各年度4月現在の数値

65歳未満の方のご相談はこちらへ

若年性認知症支援コーディネーター

認知症は65歳未満の若い人が発症することもあり、それを「若年性認知症」といいます。若年性認知症支援コーディネーターは、受診のことから就労継続、福祉サービスの利用支援など、患者さんやご家族からのご相談の受付や、支援に携わるネットワークの調整などを行っています。

●国立病院機構久里浜医療センター
046-848-1550(代表)
月～金曜 8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横須賀・三浦

●湘南東部総合病院
0467-83-9111(代表)
0467-83-9091(医療社会サービス部)
月～土曜 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 湘南東部、県央

●曽我病院(福祉医療相談室)
0465-42-1630(代表)
月～金曜 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 相模原、湘南西部、県西

●横浜市総合保健医療センター診療所(総合相談室)
045-475-0105(直通)
月～金曜 9:00～16:00(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●横浜ほうゆう病院(地域医療連携室 若年相談窓口)
045-360-8787(代表)
月～金曜 9:30～15:30(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●横浜総合病院(若年性認知症相談窓口)
045-903-7106(直通)
月～金曜 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●川崎市若年性認知症サポートデスク
NPO法人 マイWay
044-400-7060(直通)
月～金曜 9:00～16:00(祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 川崎

若年性認知症コールセンター

厚生労働省が認知症介護研究・研修大府センターに委託して、若年性認知症に関するご相談を受け付けています。
0800-100-2707 月～土曜 10:00～15:00(祝日、年末年始を除く)

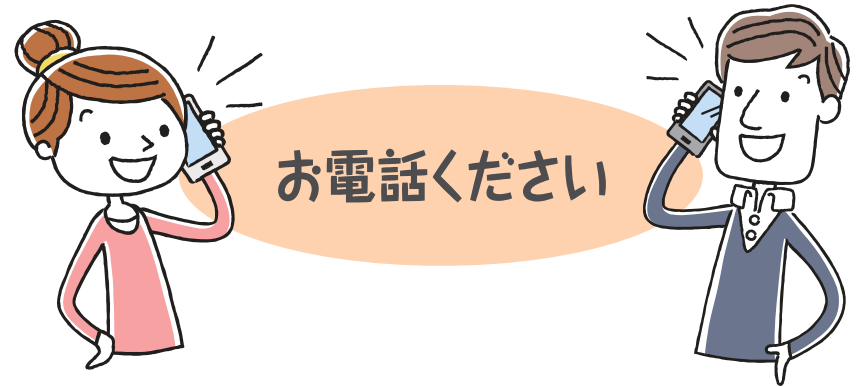
認知症の人とご家族をみんなで支えるマークです

神奈川県では、認知症施策の普及啓発を推進するため、認知症の人、家族などの意見を踏まえて、独自に「認知症の人と家族を支えるマーク」を作成し、市町村・団体等と協力して、このマークを活用した取組みを行っています。

○全体の形は認知症の頭文字「N」をデフォルメしました。ハートは温かな心づかいを表しています。
○デザインには、記憶が欠けてしまうことで、認知症の方が感じる不安や疎外感を埋める、パズルのピースになれるようにとの想いが込められています。



認知症のあれこれ



認知症全般に関することや介護の悩みなどを、介護の経験者を中心としたスタッフがご相談に応じます。ご家族等を介護しているケアラーの皆様もお気軽にご相談ください。

かながわ認知症コールセンター
公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部
0570-0-78674 (なやむことなし)
月・水曜 10:00～20:00 土曜 10:00～16:00(年末年始を除く)

よこはま認知症コールセンター
公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部
045-662-7833 (なやみさよなら)
火・木・金曜 10:00～16:00(年末年始を除く)

川崎市認知症コールセンター「サポートほっと」
NPO法人 川崎市認知症ピアサポートセンター
0570-0-40104 (ほっとよ)
月・火・木・金曜及び第1・第3日曜 10:00～16:00 第2・第4木曜 10:00～20:00(祝日、年末年始を除く)



お住まいの地域にも
相談窓口があります

地域包括支援センター
市区町村の高齢福祉主管課や保健福祉事務所
保健所までどうぞ。

詳しくは [かながわ認知症ポータルサイト](#) 検索

神奈川県内の認知症疾患医療センター

専門スタッフがお聞きします

<神奈川県 認知症疾患医療センター>

**① 東海大学医学部付属病院
総合相談室**

伊勢原市下糟屋143
0463-93-1121 (代表)
 月～金曜 9:00～15:00
 第1・3・5土曜 9:00～12:00
 (祝日、11月1日、年末年始を除く)

**② 国立病院機構久里浜医療センター
医療福祉相談室**

横須賀市野比5-3-1
046-848-1550 (代表)
 月～金曜 8:30～17:15
 (祝日、年末年始を除く)

③ 曽我病院 福祉医療相談室

小田原市曽我岸148
0465-42-1630 (代表)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**④ 湘南東部総合病院
医療社会サービス部**

茅ヶ崎市西久保500
0467-83-9111 (代表)
0467-83-9091 (直通)
 月～土曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

⑤ 厚木佐藤病院 医療サービス課

厚木市小野759
046-247-1211 (代表)
046-258-6663 (直通)
 月・火・木・金・土曜 9:30～16:00
 (祝日、年末年始を除く)

⑥ メモリーケアクリニック湘南

平塚市四之宮5-20-4
0463-51-1102 (代表)
 月～金曜 9:30～17:00
 土曜 9:30～12:30 (祝日、年末年始を除く)

⑦ メンタルホスピタルかまくら山

鎌倉市鎌倉山1-23-1
0467-32-2550 (代表)
 月～金曜 9:00～16:00
 (祝日、年末年始を除く)

⑧ たなかクリニック

大和市桜森3-7-18
046-200-3322 (代表)
 月～金曜
 9:00～12:30 (受付11:00まで)
 15:00～18:30 (受付17:00まで)
 ※木曜は午後休診
 土曜 9:00～13:00
 (祝日、年末年始を除く)

<横浜市 認知症疾患医療センター>

**⑨ 横浜市立大学附属病院
患者サポートセンター**

横浜市金沢区福浦3-9
045-787-2852 (直通)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑩ 済生会横浜市東部病院
療養福祉相談室**

横浜市鶴見区下末吉3-6-1
045-576-3000 (代表)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑪ 横浜舞岡病院
医療相談室**

横浜市戸塚区舞岡町3482
045-822-2169 (直通)
 月～土曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑫ 横浜市総合保健医療センター
診療所 総合相談室**

横浜市港北区鳥山町1735
045-475-0103 (直通)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑬ 横浜市立みなと赤十字病院
認知症疾患医療センター**

横浜市中区新山下3-12-1
045-628-6761 (直通)
 月～金曜 9:00～16:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑭ 横浜ほうゆう病院
地域医療連携室**

横浜市旭区金が谷644-1
045-360-8787 (代表)
 月～土曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑮ 横浜総合病院
地域医療総合支援センター**

横浜市青葉区鉄町2201-5
045-903-7106 (直通)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑯ 横浜栄共済病院
患者サポートセンター**

横浜市栄区桂町132
045-891-2171 (代表)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑰ 横浜相原病院
認知症疾患医療センター**

横浜市瀬谷区阿久和南2-3-12
045-489-7600 (直通)
 月～金曜 9:00～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

<川崎市 認知症疾患医療センター>

**⑱ 川崎市立川崎病院
認知症疾患医療センター**

川崎市川崎区新川通12-1
044-233-5521 (代表)
 月～金曜 8:30～17:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑲ 日本医科大学武蔵小杉病院
街ぐるみ認知症相談センター**

川崎市中原区小杉町1-383
044-733-2007 (直通)
 月～金曜 9:00～16:00
 (祝日、年末年始を除く)

**⑳ 聖マリアンナ医科大学病院
認知症(老年精神疾患)治療
研究センター**

川崎市宮前区菅生2-16-1
044-977-6467 (直通)
 月～金曜 9:30～16:30
 (祝日、年末年始を除く)

**㉑ かわさき記念病院
認知症疾患医療センター**

川崎市宮前区潮見台20-1
044-977-3100 (直通)
 月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00
 (祝日、年末年始を除く)

<相模原市 認知症疾患医療センター>

**㉒ 北里大学病院
トータルサポートセンター**

相模原市南区北里1-15-1
042-778-8229 (直通)
 月～金曜 9:30～16:30
 (祝日、年末年始を除く)

ひとりで悩まず
お電話ください



認知症オレンジパートナーネットワークウェブサイト

神奈川県では、認知症サポーター等の個人の支援者、地域の支援団体、認知症カフェ等の活動拠点、企業や行政等が連携し、認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らしていくための支援を行う「認知症オレンジパートナーネットワーク」のウェブサイトを開発しています。

若年性認知症の方は、新たな就労先や様々な活動の場を探すことができます。

こんなことができます！

若年性認知症の方

- ・新たな就労先を探す。
- ・様々な活動の場を探す。

個人の支援者

- ・ボランティア活動に申込み。
- ・県の施策や認知症に関する情報等を受け取る。

地域の支援団体、活動拠点、企業、行政等

- ・若年性認知症の方へ向けた、就労支援、活動場所に係る募集情報を掲載する。
- ・ボランティア活動等の募集情報を掲載する。
- ・県の施策や認知症に関する情報等を受け取る。

オレンジパートナーネットワーク ウェブサイトを開発しています！



こんなことができます！

若年性認知症の方の就労先を探したい！

ボランティア活動をする場所を探したい！

色々な人と意見交換をしたい！



かががけネットワークと認知症の人と家族を支えるマーク



認知症オレンジパートナーネットワーク ウェブサイト
<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1393/orangepartner/index.html>



神奈川県
認知症の人と
家族を支えるマーク



ともに生きる社会
かながわ県民

～誰もが安心して暮らすことのできる社会を目指して～
 ～誰もが安心して暮らすことのできる社会を目指して～
 ～誰もが安心して暮らすことのできる社会を目指して～

ともに生きる

お問合せ 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ

電話 045-210-4846 (直通)

もしかして

若年性認知症??

記憶に不安を感じたら



若年性認知症とは

「若年性認知症」とは、65歳未満で発症した認知症のことです。若年性認知症の方は仕事、家事、子育て世代に発症することが多く、現役で働いている場合、若年性認知症を理由に退職してしまうと、経済的に困ってしまいます。しかし、退職前に若年性認知症支援コーディネーターに相談することで、仕事を継続できる可能性があります。

神奈川県の取組

神奈川県では、若年性認知症の人やその家族等の相談に対応し、支援に携わる者同士のネットワークの調整を行う、若年性認知症支援コーディネーターを配置しています。ご本人やご家族等からの若年性認知症に関する困り事や悩み事等の相談に対して、解決に向けた支援をします。

神奈川県内の若年性認知症支援コーディネーター相談先

※受診してなくても、相談することができます。

名称	担当エリア	電話番号
国立病院機構久里浜医療センター	横須賀・三浦	046-848-1550 (代表)
曾我病院 (福祉医療相談室)	相模原、湘南西部、県西	0465-42-1630 (代表)
湘南東部総合病院	湘南東部、県央	0467-83-9111 (代表) 0467-83-9091 (医療社会サービス部)
横浜ほうゆう病院 地域医療連携室 若年相談窓口	横浜	045-360-8787 (代表)
横浜市立大学附属病院 認知症疾患医療センター	横浜	045-787-2852 (直通)
横浜市総合保健医療センター 診療所 総合相談室	横浜	045-475-0105 (直通)
横浜総合病院 若年性認知症相談窓口	横浜	045-903-7106 (直通)
川崎市若年性認知症サポートデスク	川崎	044-400-7060 (直通)

若年性認知症支援コーディネーターの連絡先等詳細はこちら

神奈川県HP認知症の相談窓口



若年性認知症支援コーディネーターが様々な支援につなげます



雇用期間中（気づき、雇用継続が可能な時）

認知症を疑ったら・・・

まずは若年性認知症支援コーディネーターへ

- 医療機関受診
 - ・認知症サポート医
 - ・かかりつけ医
 - ・認知症疾患医療センター
- 相談窓口
 - ・若年性認知症支援コーディネーター
 - ・認知症コールセンター
 - ・認知症初期集中支援チーム
 - ・地域包括支援センター



受診をしていなくても、ご自身で不安を感じた時いつでも気軽に相談できます！



曾我病院
若年性認知症支援
コーディネーター

診断を受けたら・・・

今の仕事を継続したい！

- 就労継続を支援
 - ・障害者手帳
(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳)



休業中の収入を補填したい！

- 経済的支援
 - ・自立支援医療 ・傷病手当金
 - ・障害年金 ・高額療養費
 - ・高額介護サービス費
 - ・高額医療・高額介護合算療養費制度



- 生活支援 ・日常生活自立支援事業 ・成年後見制度 ・学資支援等

退職後（収入減への対応、次の活躍場所）

元の職場を退職したら・・・

残っている支払いが不安・・・

- ・雇用保険 ・健康保険の加入
- ・年金保険料の免除
- ・住宅ローン ・生命保険



自分に合った仕事を探したい

- ・ハローワーク
- ・地域障害者職業センター
- ・障害者就業・生活支援センター



気軽に通える場所が欲しい

- 活躍できる場所
 - <障害者総合支援>
 - ・就労継続支援A・B型
 - ・行動援護等

- <介護保険サービス>
- ・デイサービス・デイケア
- ・ショートステイ
- ・施設入所

- <その他、インフォーマルサービス>
- ・家族（交流）会
- ・認知症カフェ・サロン



湘南東部総合病院
若年性認知症支援
コーディネーター

まずは若年性認知症支援コーディネーターに連絡しましょう
表紙の連絡先へ！



各種支援の詳細はこちらから

症状が進行してからも相談してください。状況に応じて丁寧な支援の提案をします。

会社など職場の方へ

次のような異変があるときは、若年性認知症の可能性があります。

- 作業に手間取ったりミスが目立つようになる。
- 指示されたことが理解できなくなる。
- お金の計算や漢字の読み方がわからなくなる。
- 身だしなみに無頓着になる。

一緒に働いている方の変化に気づいたら、相談してください！

職場の方でも若年性認知症支援コーディネーターに相談いただけます。

ご本人のためにも、職場のためにもまずはご連絡を！



久里浜医療センター
若年性認知症支援
コーディネーター

GrASP株式会社（横浜市）

GRASP aoba横浜北部、GRASP asahi横浜中西部

事業形態 2単位型認知症対応型通所介護

事業内容 コンセプトは、どのような容態であっても連続した切れ目のないサービス。

- ワーク：『シゴト』を通して社会貢献の機会を創出。
- エンジョイ：『イベント』を通して社会参加の機会を創出。
- ペーシック：『クラシ』を通して能力発揮の機会を創出。



● 利用者の声

当事者：仲間がいますし、生活のメリハリができて生活リズムが整うので利用しています。

● 若年性認知症の人・ご家族のみなさまへのメッセージ

弊社は若年性認知症の人とご家族、地域サポーター、そしてスタッフが、活躍の場、安心・安全の環境、コミュニティ等を共創しています。喜怒哀楽を仲間と共有しながら、愉快で豊かな日々をともに過ごしませんか。『ひとりじゃない』GRASPにはあなたを理解する方が、笑顔で迎えますから。

若年性認知症の方を支援している事業所

NPO法人シニアライフセラビー研究所（藤沢市） パン遊房亀吉、ボランティアステーション亀吉等

事業形態 就労継続支援B型、就労移行支援、地域密着型通所介護、共生型生活介護

事業内容 天然酵母・国産小麦を使い、ふるさと納税サイトのパン部門1位を獲得したパン工房や、できる人ができるときに、できることを行う働く場やボランティア活動の場があります。



● かながわオレンジ大使（認知症本人大使）からメッセージ

かながわオレンジ大使の望月吾吾（通称：もっち）です。62歳で若年性認知症（アルツハイマー型）と診断されて、現在79歳（令和5年3月時点）認知症17年のベテランです。毎週木曜日に亀吉でマンドリン演奏のボランティアをしています。好きなマンドリンを演奏して、みなさんに喜んでもらえる。こんな幸せなことはありません。認知症なんて関係ありません。少しでも前を向くことを努力しましょう。私は100歳まで、この活動を続けたいと思います。

NPO法人マイWay（川崎市） マイWayサードプレイス

事業形態 就労継続支援B型、地域生活支援事業（日中一時支援）

事業内容 若年性認知症の方が、地域とのつながりの中で“はたらく、役割を持てる場”です。就労継続支援B型に加え、地域生活支援事業（日中一時支援）を開設することで移動支援も可能になりました。認知症とともに生きる方の「サードプレイス＝自宅でも会社でもない、第3の居場所」として、これからも一緒に歩いていきます。



● メンバーさんからの声

認知症になってもわたしはわたし。やりたいことを、これからもやり続けたい。マイWayでの活動は自分を必要とされている。一緒に頑張れる仲間がいるって嬉しい。いろいろな人と出会うことで一緒に歩いていきたいな。外へ出ることの緊張感は大切だと思う。仕事を通じて自分たちのできる範囲で社会に貢献している。今充実してます！！

令和4年度
神奈川県認知症施策活動事例集
～認知症地域支援推進員の活動支援のために～

令和5年3月

編集 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部

高齢福祉課高齢福祉グループ

電話：045-210-4846

